

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
倫理 Ethics	必	市瀬賢二	3 年生 物質工学科	1	半期 週 2 時間							
授業概要	人間の多様な価値観、思考形態を西洋・東洋思想の二つの流れで検証する。 又高齢化社会における人間心理の変化を考察し、理解をはかる。											
到達目標	1. ギリシアに始まる思想の変遷、流れを考察し、同時に古代中国思想家（孔子などの諸子百家達） に注目することにより、倫理学について基本的な理解を深める。（A） 2. 人間の成長と変化する精神構造のメカニズムを考える。（A）											
評価方法	一回の定期試験（6 0 %） ノート提出（1 0 %） 発表等（3 0 %）											
教科書等	参考資料 現代倫理（清水書院）											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	儒教と子供観（中国・朝鮮の家族愛 性善説と子供観）				A							
第 2 週	同上 *発表形式の説明少々				A							
第 3 週	精神構造のトランス深化「千夜一夜物語」が教え示唆すねもの。				A							
第 4 週	「性格形成過程の二つの頂点」 第一反抗期 第二反抗期				A							
第 5 週	高齢者の反乱―第三反抗期―「老いては子に従え」時代からの脱却				A							
第 6 週	発達心理学にみる好ましくない親の態度 「欲求不満からくる攻撃」犠牲羊について				A							
第 7 週	西洋思想の流れ ギリシア時代―前期― *自然学派 *ソフィストの集団				A							
第 8 週	―後期―*ソクラテスの悩み *プラトン *アリストテレス				A							
第 9 週	ヘレニズム時代・ローマ時代(一部)*エピクロス派 *ストア派				A							
第 1 0 週	ローマ時代(一部)とキリスト教				A							
第 1 1 週	イスラム教の成立				A							
第 1 2 週	古代インド思想の形成				A							
第 1 3 週	近代哲学思想 *デカルト*ベーコン*カント*ヘーゲル*実存主義*実用主義等				A							
第 1 4 週	人間の欲求と適応 ―基本的欲求―と障壁 欲求不満(フラストレーション)				A							
第 1 5 週	人間の欲求と適応 無意識の世界と人間の反応(防衛機制中心)				A							
第 1 6 週												
第 1 7 週												
第 1 8 週												
第 1 9 週												
第 2 0 週												
第 2 1 週												
第 2 2 週												
第 2 3 週												
第 2 4 週												
第 2 5 週												
第 2 6 週												
第 2 7 週												
第 2 8 週												
第 2 9 週												
第 3 0 週												
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
				○								

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

ガイダンス

第1—2週

両親に対する「孝」や、家族に対する愛の実践とその深さ。文化としての認識が必要である。
性善説に基づいた子供観は「問題あり」の意見あり、発達心理学では、どうとらえるのか。

第3週

人間リサーチ

- *被害者意識の共有 *カタルシス効果—カウンセリングの基本—
- *高齢者の複雑で微妙な心理を小説で検証する。

第4週

身体的、精神的自立・自主性の確立過程でおこる反抗現象。
その対応で性格形成に大きな影響を与えと言うが、多角的視点で検討する。

第5週

今、元気で活発、ファッション・恋・結婚等、新しい価値観で行動する高齢者の姿がある。
この動きを「第3反抗期」と言われる。

第6週

「子が親を殺す」報道される多くの親子トラブル。
心理学者があげる、好ましくない親の態度5型から考察する。
軍隊での新兵扱きや、学校でのイジメ等、犠牲羊(スケープゴート)の具体例と精神構造について。

第7週—第8週

「真理」の追求をめざして展開される人物模様。そのなかに「人間は万物の尺度」としたソフィスト集団
のプロタゴラスがいた。

第9週

アレクサンドロス大王がもたらした広大な領域の帝国。
それ故の必然的な思想誕生が考えられる。

第10週—第12週

世界三大宗教を学習する。
キリスト教 イスラム教 仏教

第13週

近代哲学思想の流れから、現代に至る主要な理解を心がける。

第14週—第15週

人間の欲求は、多くの障壁により阻止され、欲求不満が生じる。イライラするがしかし無意識の世界、心の安定を求める精神構造がある。「代償」「反対構成」「合理化」等